

科目名 画像検査技術学

1単位 30時間 夜間部4年 後期 担当講師 西林 直行

教育目標

画像診断装置の臨床応用を目標に疾患、病態に応じた検査法と画像処理技術を関連づけて学習する。
また、演習課題への取り組みによって検査手技、使用する診断装置を相互に関連づけ理解を深める。

使用教材 医用放射線ノート（記入式）「診療画像技術学」（自著）
演習課題プリント

推奨参考書 医学生のための放射線医学（第2版） 福田国彦 他 金原出版
解剖イラストでわかる画像診断全科100疾患 大井静夫 照林社
メディカルノート画像診断 小川敏英 編集 西村書店

出欠確認方法 点呼 **試験** 有 **評価方法** 試験・出席

授業概要（後期）

- 1回 総論 画像検査と診断機器
- 2回 消化器系のX線・超音波検査
- 3回 消化器系の超音波検査と画像
- 4回 消化器系検査（CT/MRIと画像）
- 5回 泌尿器・婦人科系の検査
- 6回 中枢神経系検査（頭部CT）
- 7回 中枢神経系検査（頭部MRI）
- 8回 中枢神経系の疾患と画像
- 9回 中枢神経系検査（脊髄疾患と画像）
- 10回 整形外科系検査（骨・関節・軟部疾患）
- 11回 眼底検査（無散瞳眼底カメラと眼底像）
- 12回 呼吸器・循環器系検査
- 13回 循環器系の疾患と検査
- 14回 循環器系の疾患と検査
- 15回 総合画像検査

【実務経験】

診療放射線技師として、大学付属病院に約20年間勤務する。
専門分野である診療画像機器、画像検査学の他、診療画像技術学実習を指導している。